

報道関係者 各位

2019年1月31日

## 佐倉〈ゆうゆうの里〉ご入居者が「森の中で」を出版

本の出版・個展開催など趣味を謳歌できる場所

介護付き有料老人ホーム〈ゆうゆうの里〉を全国7施設運営している日本老人福祉財団（東京都中央区）は、佐倉〈ゆうゆうの里〉（千葉県佐倉市）に入居されている根道明子様（みねみち ともこ）が「森の中で」を自費出版しましたのでインタビューを行いました。

今回の作品は80歳を迎えた記念に出版され、この作品は4作品目になります。根道様は、本の出版だけでなく個展の開催や絵画サークルで世話役を務めるなど精力的に活動していらっしゃいます。



（左）インタビューを行った根道様、実施した応接室にも根道様の作品が飾られていました。

（右）今回出版された「森の中で」の表紙



## ◆ 出版の経緯

今回自費出版した「森の中で」は4冊目の作品になります。1971年に1冊目を出版し、1998年に60歳の記念として、童話「小さなおはなし集」、70歳記念に画集「ハイジ・風にうたう」を出版しています。これらの本は、企画からデザインまでご自身で行い、印刷のみを印刷会社へ発注しています。

デザイン等をどのように学ばれたかを根道様に伺ったところ、「現役時代、デザイン関係の仕事をしており、出版に関する知識はあった。」とのお話でした。

今回の本は絵本です。内容は、一人の少年“Tちゃん”がベランダ前の広場に大きな木を植えたいと願い、木の絵を画用紙に描きます。その後、絵が風に飛ばされ、森の中の非現実的な世界に迷い込みます。森の中では緑の髪・目・服装をした人たちが町に植える木について議論しており、Tちゃんが描いた絵も議題に挙がり、結果的には植えることが可決されました。その後、現実世界に戻り本当に木が植えられたという物語です。町に木が植えられていく過程が物語として描かれています。

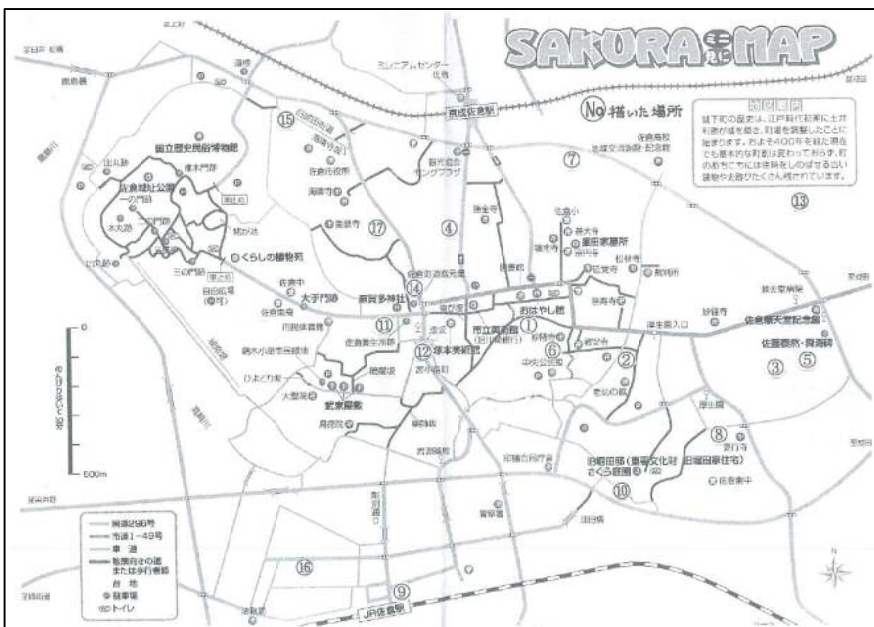
◆ 個展について

「佐倉スケッチ展」を2018年12月8日(土)～18日(火)まで佐倉市立美術館前の「SAINT.D」で開催しました。5回目の今回のテーマは、「木」です。テーマとして選んだ理由は、誰もが木が好きで関心が高いからです。佐倉〈ゆうゆうの里〉から半径1.5km以内の場所の大きな木を中心に水彩絵具で描かれています。来場者は、〈ゆうゆうの里〉だけでなく周辺の多くの方々と、なじみの場所が描かれている作品をご覧になり会話も弾むそうです。

絵の制作には、1回2時間程度で数回に分けて現地で描きます。一度に描くと細かいところに目が行きがちですが一度持ち帰り、改めて描くことで全体像が見えてくるとのことです。

個展だけでなく、佐倉〈ゆうゆうの里〉のケアセンター(介護棟)にも季節に合わせた作品を展示しています。ご入居者・ご家族だけでなく、職員にも喜んでもらっているそうです。

次回は、「川」をテーマに描く予定です。歩ける範囲に高崎川が流れており、川沿いの四季を描きたいと楽しそうに話をされていました。



(左) 今回個展で描かれた場所



(右上) 個展会場の入り口 (右下) 個展会場の様子

◆ サークル活動

現在、絵画サークルに所属しています。絵画サークルのメンバーは、17名で月3回(火曜日)午後、2時間ほど活動しています。メンバーのうち男性は5名です。根道様は、サークルの中では先生役も務めています。「先生」と呼ばれることに初めは抵抗がありましたが、今では慣れましたと笑顔で話されていました。デッサンの間違えがあれば指摘しますが、それ以外はメンバーの個性を重視するとのことでした。

〈ゆうゆうの里〉では、他のサークルでも入居者間で「教え」、「教わり」の関係が出来ることが多く、入居時自立型の〈ゆうゆうの里〉ならではないかと思えます。

#### ◆ 最後に

インタビューの中で、根道様は、〈ゆうゆうの里〉に入居をして生活の基盤が安定したことで、余裕が出来て自然とやりたいことが出てきたと話されていました。

〈ゆうゆうの里〉では、食事は予約をすれば食堂でとることが可能です。食事を作る時間を趣味の時間に充てることもできます。また、自立の人でも一時的に体調を崩した場合、必要に応じて介護職員の支援を受けることが出来ますので安心です。根道様は、そのようなバックアップ体制をうまく活用し生活を楽しまれている印象を受けました。

(インタビュアー：調査企画室室長 夏目芳宏、調査企画室 富田明優)

#### ◆ 会社概要

財団名：一般財団法人 日本老人福祉財団

理事長：青木 雅人

設立：1973（昭和48）年

事業：介護付き有料老人ホーム〈ゆうゆうの里〉を全国7か所（佐倉、湯河原、伊豆高原、浜松、京都、大阪、神戸）で運営。

特徴：今年創立46年目を迎え、有料老人ホーム運営事業者の中では歴史が長い。自立の時期に入居して頂き、最期まで暮らせる住まい（終の棲家）を提供。1施設あたり平均300戸を超える大型施設のCCRC「高齢者コミュニティ」を展開している。

H P：<https://jscwo.jp/>

#### <報道関係者からのお問い合わせ先>

一般財団法人 日本老人福祉財団 本部 調査企画室兼サービス支援部 富田

T E L：03-3662-3611

E-mail：tomita-ak@yuyunosato.or.jp